

令和3年度岩手県立病院等事業会計当初予算の概要

資料No. 2

1 予算の内訳

(単位:千円)

区 分		令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	比 較
収益的 収支	収 益	112,833,114	114,091,702	△ 1,258,588
	費 用	113,028,783	112,568,170	460,613
	差引損益	△ 195,669	1,523,532	△ 1,719,201
	経常損益	37,305	1,523,532	△ 1,486,227
資本的 収支	収 入	14,639,687	14,740,833	△ 101,146
	支 出	21,831,956	22,138,467	△ 306,511
	建設改良費	7,880,305	7,874,657	5,648
	企業債償還金	12,511,251	12,857,010	△ 345,759
	他会計からの長期借入金償還金	1,000,000	1,000,000	0
	投資	440,400	406,800	33,600
	差 引 (内部留保資金充当)	△ 7,192,269	△ 7,397,634	205,365

2 収益的収支予算の主なもの

(1) 医業収益

新型コロナウイルス感染症患者の受入れ等、新型コロナウイルス感染症の影響などにより入院・外来とも患者数の減少を見込んでいます。

- ① 入院収益 57,945百万円(前年度比 △3,454百万円) 入院患者数 1,141千人(前年度比 △101千人)
- ② 外来収益 28,129百万円(前年度比 △346百万円) 外来患者数 1,697千人(前年度比 △136千人)

(2) 医業費用

職員の増員や新型コロナウイルス感染症対応に係る手当等の給与費の増加を見込む一方、患者数の減少に伴い材料費等の減少を見込んでいます。

- ① 給与費 58,608百万円(前年度比 652百万円)
- ② 材料費 27,234百万円(前年度比 △550百万円)

3 資本的収支予算の主なもの

(1) 建設改良費

施設の狭あい化及び冷房設備の老朽化に対応するための工事費や、高度医療の充実を図るための医療器械の購入費等を計上しています。

- ① 中央病院透析室拡張工事費 130百万円
- ② 千厩病院冷房設備改修工事費 377百万円
- ③ 線形加速器システム等医療器械購入費 4,151百万円

(2) 他会計からの長期借入金償還金

一般会計から借り入れた長期借入金の償還金として、1,000百万円を計上しています。

(3) 投資

計画的な医師養成を目的とする医療局医師奨学資金貸付金として、440百万円を計上しています。

令和3年度県立病院等事業会計当初予算及び令和2年度当初予算比較

(単位:千円)

	令和3年度当初予算			令和2年度当初予算			比較増減	
	金額 A	構成比 %	費用 収益	金額 B	構成比 %	費用 収益	3当対2当予 A-B=C	増減率 C/B %
1 医業収益	92,141,916	81.7	—	96,102,439	84.2	—	△ 3,960,523	△ 4.1
(1) 入院収益	57,944,813	51.4	—	61,399,161	53.8	—	△ 3,454,348	△ 5.6
(2) 外来収益	28,128,971	24.9	—	28,474,849	25.0	—	△ 345,878	△ 1.2
小計	86,073,784	76.3	—	89,874,010	78.8	—	△ 3,800,226	△ 4.2
(3) その他医業収益	6,068,132	5.4	—	6,228,429	5.5	—	△ 160,297	△ 2.6
2 医業外収益	20,691,198	18.3	—	17,989,263	15.8	—	2,701,935	15.0
3 特別利益	0	0.0	—	0	0.0	—	0	#DIV/0!
収益合計	112,833,114	100.0	—	114,091,702	100.0	—	△ 1,258,588	△ 1.1
(うち一般会計負担金)	15,932,067	14.1	(—)	15,664,147	13.7	(—)	267,920	1.7
1 医業費用	110,211,031	97.5	119.6	109,955,353	97.7	114.4	255,678	0.2
(1) 給与費	58,608,432	51.9	63.6	57,956,248	51.5	60.3	652,184	1.1
(2) 材料費	27,234,463	24.1	29.6	27,784,053	24.7	28.9	△ 549,590	△ 2.0
(3) 経費	15,795,801	14.0	17.1	15,906,056	14.1	16.6	△ 110,255	△ 0.7
(4) 交際費	1,000	0.0	0.0	1,000	0.0	0.0	0	0.0
(5) 減価償却費	7,731,225	6.8	8.4	7,510,906	6.7	7.8	220,319	2.9
(6) 資産減耗費	213,033	0.2	0.2	155,246	0.1	0.2	57,787	37.2
(7) 研究研修費	627,077	0.6	0.7	641,844	0.6	0.7	△ 14,767	△ 2.3
2 医業外費用	2,484,778	2.2	2.7	2,512,817	2.2	2.6	△ 28,039	△ 1.1
(うち支払利息)	1,288,678	1.1	1.4	1,441,280	1.3	1.5	△ 152,602	△ 10.6
3 特別損失	232,974	0.2	—	0	0.0	—	232,974	#DIV/0!
4 予備費	100,000	0.1	—	100,000	0.1	—	0	0.0
費用合計	113,028,783	100.0	100.2	112,568,170	100.0	98.7	460,613	0.4
差引損益	△ 195,669	—	—	1,523,532	—	—	△ 1,719,201	△ 112.8
前年度末繰越欠損金	48,677,929	—	—	48,428,981	—	—	248,948	0.5
当年度末累積欠損金	48,873,598	—	—	46,905,449	—	—	1,968,149	4.2

【経常損益】

(37,305)

(1,523,532)

(△ 1,486,227)

(注)診療実日数 (単位:日)

区分	入院	外来
3年度	365	242
2年度	365	243

1. 患者数

(単位:人)

区分	入院	外来	計
3年度当初予算a	1,141,163	1,696,560	2,837,723
2年度当初予算b	1,242,081	1,832,151	3,074,232
増減	a-b	△ 135,591	△ 236,509
	(a-b)/b	△ 8.1	△ 7.7

2. 一日平均患者数

(単位:人)

区分	入院	外来
3年度当初予算a	3,126	7,011
2年度当初予算b	3,403	7,540
増減	a-b	△ 529
	(a-b)/b	△ 8.1

3. 患者一人一日当平均収益

(単位:円)

区分	入院	外来
3年度当初予算a	50,777	16,580
2年度当初予算b	49,432	15,542
増減	a-b	1,345
	(a-b)/b	2.7

4. 病床利用率(許可病床数)

(単位:床、%)

区分	3病床数	3当初予算	2当初予算	差
一般	3,993	70.2	74.4	△ 4.2
療養	88	28.4	73.8	△ 45.4
結核	79	0.3	5.7	△ 5.4
小計	4,160	68.0	73.0	△ 5.0
精神	611	58.4	59.5	△ 1.1
感染	22	0.0	0.0	0.0
合計	4,793	66.7	71.3	△ 4.6

5. 病床利用率(稼働病床数)

(単位:床、%)

区分	3病床数	3当初予算	2当初予算	差
一般	3,789	75.9	78.0	△ 2.1
療養	45	55.6	73.8	△ 18.2
結核	74	0.3	6.9	△ 6.6
小計	3,908	74.2	76.7	△ 2.5
精神	557	64.1	65.3	△ 1.2
感染	22	0.0	0.0	0.0
合計	4,487	72.9	75.3	△ 2.4

資本収支

(単位:百万円、%)

内 容	3 年 度 当初予算 (A)	2 年 度 当初予算 (B)	比較増減		3 年度の主な事業内容
			3 当 対 2 当 (C=A-B)	増減率 (B/C)	
1 資本的支出					
(1) 土地費	50	50	0	0.0	
(2) 建物費	1,859	1,867	△8	△0.4	中央病院透析室拡張工事 130 冷房設備改修工事(千厩、遠野、東和) 536 附帯設備改修工事及び建物一般整備 他 1,027
(3) 医療器械費	4,151	4,677	△526	△11.2	磐井リニアック更新 他 2,017
(4) 備品費	1,151	542	609	112.4	電子カルテ、医事会計システム 他 1,026
(5) リース資産費	0	33	△33	△100.0	
(6) ソフトウェア費	669	705	△36	△5.1	電子カルテシステム 556 勤務管理システム、医事会計システム 他 113
建設改良費 計	7,880	7,874	6	0.1	
(7) 企業債償還金	12,511	12,857	△346	△2.7	
(8) 他会計借入金償還金	1,000	1,000	0	0.0	
(9) 投資	440	407	33	8.1	新規貸付25名、継続貸付109名 うち、補助金対象：新規17名、継続54名
支 出 合 計 (a)	21,831	22,138	△307	△1.4	
2 資本的収入					
(1) 企業債	7,226	6,980	246	3.5	建物分：1,722、医療器械分：4,031、システム整備分：1,473
(2) 一般会計繰入金	7,116	7,092	24	0.3	
(3) 補助金	297	669	△372	△55.6	
(4) その他	0	0	0	0.0	
収 入 合 計 (b)	14,639	14,741	△102	△0.7	
差 引 (a-b)	7,192	7,398	△206	△2.8	内部留保資金を充当

令和3年度 当初予算案について

1 予算案の考え方

経営計画（2019-2024）では、令和3年度の損益を17億39百万円の黒字としているところであるが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況にあることなどから、令和3年度当初予算における損益では、1億96百万円の赤字を計上するもの。

なお、引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応と通常診療の両立を図りながら、収入確保及び費用縮減等の改善に取り組むとともに、良質な医療を提供し続けるため、職員の負担軽減や働きやすい職場環境の取り組みなどを推進していく。

また、設備投資については、費用対効果や勤務環境の改善、キャッシュフローの見通し等を踏まえた投資規模とする。

2 各課トピック

【経営管理課】

- ・ 病院施設・設備の改修は、劣化調査の結果を踏まえながら、長寿命化改修工事等に着手する（宮古病院、釜石病院）
- ・ 中央病院透析室拡張工事（7床）、中部病院病児保育所増築工事
- ・ 新たな収入確保の取組として、病院施設等を活用した広告事業の導入
- ・ 医療局例規集のデータベース化

【職員課】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大に備えた医療提供体制の強化
- ・ 職員配置計画を踏まえた医療技術部門の体制強化（正規職員12名の増）
- ・ ハラスメント防止対策のため、専門家を含めた相談体制の整備
- ・ コンサルティング業務委託を活用した業務の平準化や効率化など、働き方改革推進による職員満足度の向上及び離職防止
- ・ 病児保育所の拡大（中部病院）
- ・ 働き方改革の推進や超過勤務縮減推進月間の実施、ICT（RPA、会議録作成支援システム等）の活用などによる超過勤務の10%縮減

【医事企画課】

- ・ 診療報酬の算定維持及び新規項目の算定開始のための人員配置等の把握・分析
- ・ 患者のQOLに配慮した各種指導と在院日数の適正化
- ・ マイナンバーカード保険証利用に向けたオンライン資格確認システムの活用
- ・ 医療現場のデジタル化の推進に向けた整備（電子カルテ等のWeb接続環境、AI問診、オンライン面会の導入、会議録作成支援システム、患者待ち時間お知らせサービスの提供）

【業務支援課】

- ・ クリニカルパスの推進（早期処方取組）
- ・ 多職種間の協働等取組として、病棟薬剤業務の充実、特定看護師等によるチーム医療の推進、入退院支援部門との連携による入院栄養食事指導の推進
- ・ 365 日リハビリテーション対応の推進
- ・ リニアック等の高度医療機器等の計画的な整備
- ・ 医師との協働による診療材料の廉価購入取組

【医師支援推進室】

- ・ 県立病院間の連携強化による専門研修プログラムの充実
- ・ 医師の労務管理体制の構築と専門家による相談窓口の設置
- ・ 医師間のタスク・シェアによる業務負担軽減検討
- ・ 時間外労働の削減に向けた「労働時間短縮計画」の策定など医師の労働時間の適正化に向けた取組の推進
- ・ 医師の業務負担軽減に資する医療クラークの増員（定数 20 名増加）